

未来デザイン ワークショップ (中央・東エリア第1回) 参加者アンケート 集計結果

開催概要

- 開催日時：令和2年1月11日（土）13：30～15：30
- 開催場所：生涯学習総合センター 多目的ホール
- 参加者数：31名

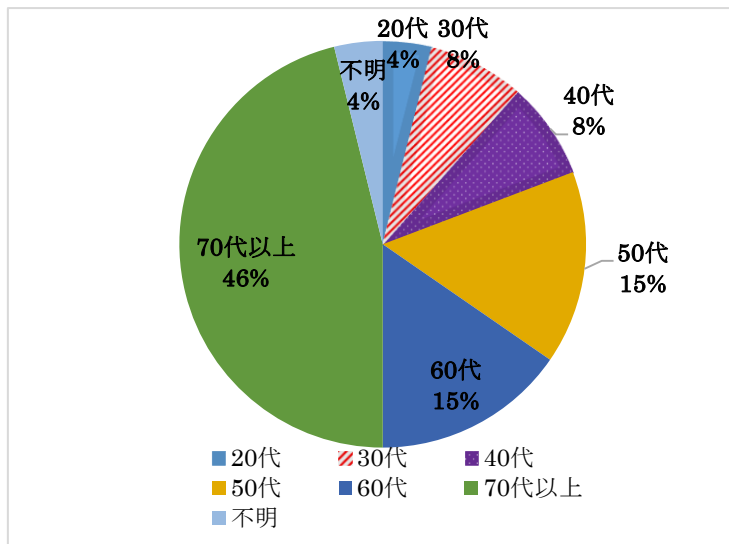
1 アンケート回答率

	回答数	参加者数	回答率 (%)
人数	26	31	83.9

2 性別

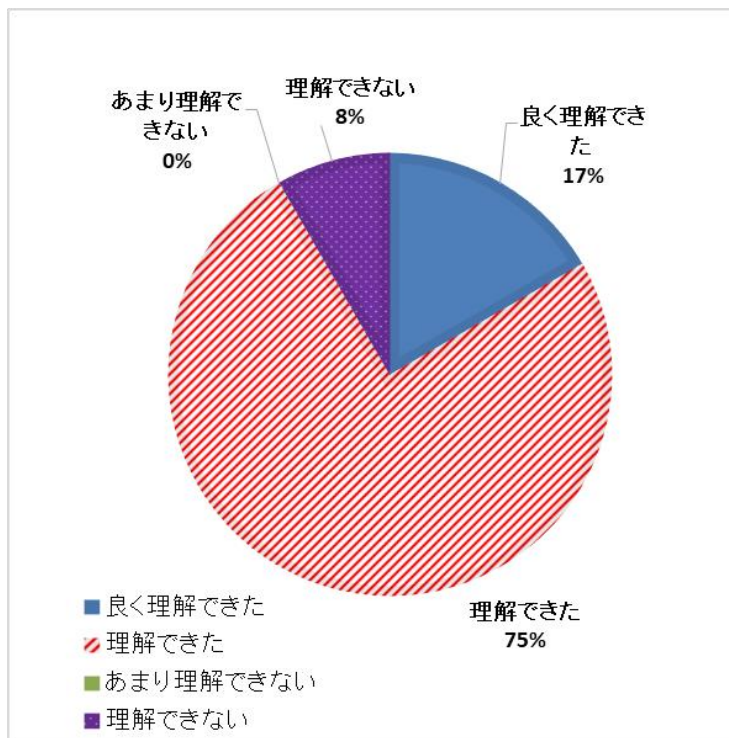
	男	女	合計
人数	22	4	26

3 年代



	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
人数	1	2	2	4	4	12	1	26

4 本市の公共施設の現状、課題、取組の必要性を理解できましたか。

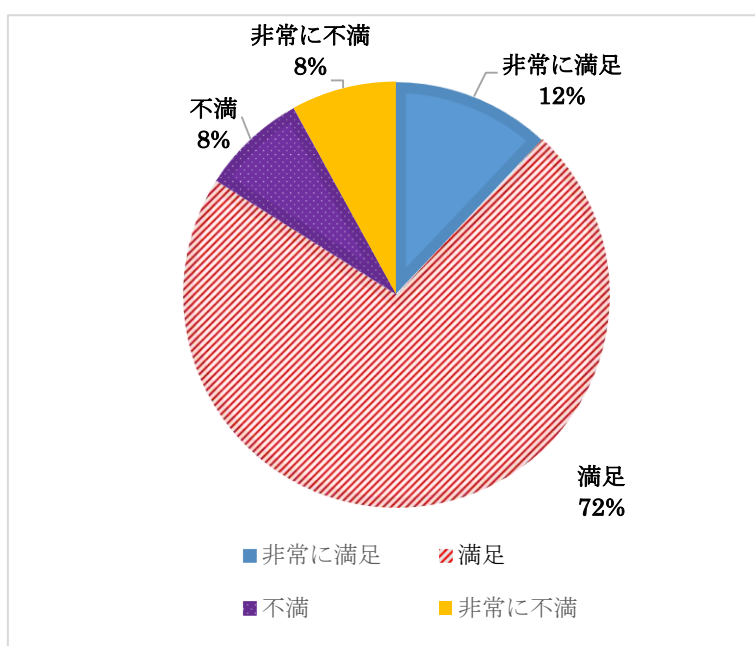


	良く理解できた	理解できた	あまり理解できない	理解できない	合計
人数	4	18	0	2	24

【理由】

- ・ 声が聞きにくく何を話しているかわからない。
- ・ 現状の問題・課題が抽出。取組が難しい。
- ・ 課題が永く続いている—取組みの結果があまりみえていない。
- ・ 前提であり意味がないと思う。
- ・ 公共施設の有効利用と協力が必要と思った。
- ・ 自分が住んでいる地域、それ以外の地域の課題について知ることができた。
- ・ 共通の課題はもちろん、特有の課題や資源を再認識できた。
- ・ 各地域に様々な課題があることがわかった。
- ・ 自分の居住地だけでなく、市全般でかかえている問題がよくわかった。
- ・ 説明が足りなかったのではないのでしょうか。
- ・ 他地区の様子が解り参考になりました。

5 ワークショップの満足度とその理由を教えてください。



	非常に満足	満足	不満	非常に不満	合計
人数	3	18	2	2	23

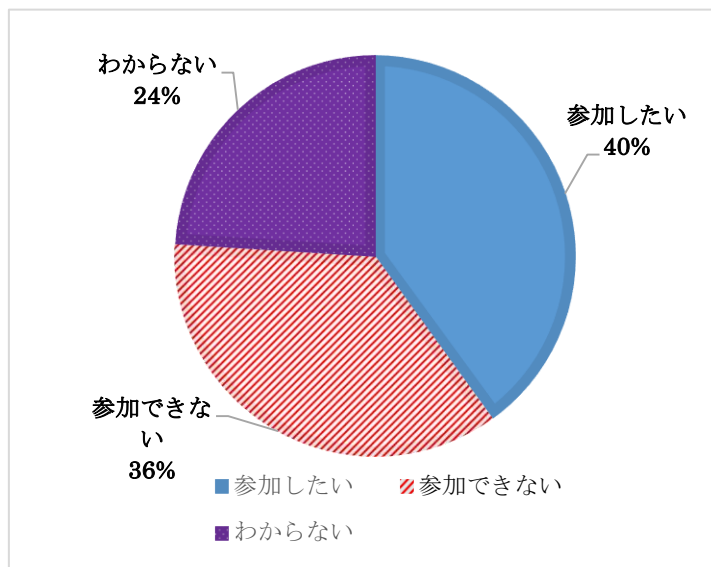
【理由】

- ・ 現状の問題・課題を今後の未来に向けて取組んでいく事が望ましい。
- ・ いいようで絞りきれない。
- ・ 見えてこない。
- ・ 各地区の様子を知ることができたのは良かった。
- ・ 地区による違い（資産）により、多くの意見があり、ためになった。
- ・ 満足度の定義づけは、参加者が増加することなのか。
- ・ 世代・性別関係なくお話しでき良かったです。
- ・ やみくもに話すのではなく、ルールに基づいて進めて行く、自分と違う意見をきくことができた。
- ・ ファシリテーターの方々が上手く進行、タイムキープしてくれた。
- ・ 初めは不安だったが、話し始めるとおもしろいことが聞けたりして楽しめた。
- ・ 問題解決のヒントが示されていた。
- ・ 当町内では特に除雪の問題が大きいです。市道は市で除雪してくれますが、

私道については居住地の住民にその対策が負わされています。側溝に除雪を捨てられるように全市で取り組んでほしいです。

- ・弱みを強みに持っていくということ、自主的に自分がやる精神は何事にも通じることだと思います。
- ・居住歴の長い方と短い方とで問題意識が違うことを知った。話してみなければわからないことだった。
- ・納得した。
- ・各地区の話しが聞けて良かったです。
- ・アイデアはいっぱい、次回も楽しみです。
- ・もう少し、課題があればな？
- ・グラフィックレコーディングという手法は判り易くてよいです。

6 1月25日に開催予定の第2回ワークショップへのご意向を教えてください。



	参加したい	参加できない	わからない	合計
人数	10	9	6	25

7 今後のワークショップ開催についての提案、意見等自由にご記入ください。

・本件については、第4包括支援センターで行なっており、全く同じものを市で行うことはいかがなものか。有識者を招集して今後の市の有り方を決定した方が良いのではありませんか。

・音響施設があまり良くない。説明内容ゆっくり、はっきり。代表発表は1人ずつ全体に説明した方がよい。白板の文字小さい。説明ゆっくりと。

・講師の方の説明もうすこしほしい。音響がわるく頭に入らず一音が飛んでいる（私のせいかも）。スライドもみにくい。

・具体性がない、つめることができない。

・講師の方々、いずれも早口でよく聞きとれないのでゆっくりお願いしたい。

・意見を重ねる大切さを実感しました。3回目は参加したいと思っています。

・地域を育てる知恵を考える機会として生かしたい。

・世代別の意見も大切にしたい。

・数を重ねればいいものになると思います。

・年配の方が多いので、説明内の横文字は少なくしてほしい。

・各地域の資源として、公民館を挙げる地域が少なく、存在が弱いことが分かった。

・雪国の宿命で冬期間の除雪は当然ですが、市全体として側溝に雪を捨てられるような体制としてほしいと願っています。これが可能であれば、除雪の件は大幅に解決されると思います。

・Cグループの参加者は満足度高かったです。「ワークショップ」の意味がわからなかったそうです（お店だと思ったそうです）。地域の課題を生声として聞ける貴重な機会でした。

・グループの区長さんが話しておりましたが、ワークショップなどわかりやすい言葉にしてほしいとのことでした。

・今の時期を前半にもって来てほしい。

・もっと若い年齢の方の参加を望みたいと思います。

- ・ 各人の記入内容をレポートでまとめて下さい。
- ・ 高齢福祉課の「協議体」と重なる話多くあります。そちらとの協働をぜひ。